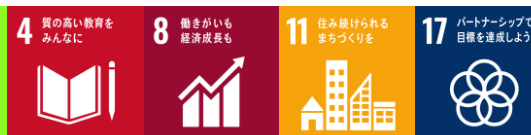


地域の未来を担う人材育成



和歌山市では、社会情勢の変化や複雑化する行政課題に対し、より質の高い市民サービスを提供し続けるため、組織の根幹となる人材育成に取り組んでいます。

急速なデジタル化に即応できる専門的なスキルの習得や、地域課題の解決に向けた新規事業を構築できるイノベーション人材の育成を目的とした職員研修の実施に加え、職員一人ひとりがやりがいと成長を実感できるよう、多様な働き方を受け入れる職場環境づくりや優秀な人材の確保にも取り組んでいます。

これらの取組が、職員のスキル向上だけでなく、持続可能な和歌山市の実現に寄与するとともに、市民の皆様により良いサービスを提供するための基盤となることを目指しています。



これらの取組を進めるために設置している「和歌山市人材育成基金」に積み立てた上で大切に活用させていただきます。



「オール和歌山市」で取り組む地域の温暖化対策



「空き家改修×脱炭素」で創るまちなか再生“和歌山市モデル”

和歌山市では、日々の省エネ行動、再生可能エネルギーの活用はもちろん、以下のような地域の特性に合わせた取組を進めています。

- (1)「脱炭素先行地域(全国100都市)」に選定され、「空き家改修×脱炭素」によるまちなか再生を一体的に実現する取組を推進しています。空き家の断熱改修や再生可能エネルギーの導入によって建物の資産価値を高め入居を促し、また、郊外施設にも再生可能エネルギーを導入し、中心市街地に電力を供給する仕組みを整える、といった「和歌山市モデル」のまちづくりを進めています。
- (2)市域全体の脱炭素化を促進するため、EV導入支援や公共施設への充電設備設置、中小企業に対する省エネ診断や省エネ改修への支援などの取組を進めています。

これらの事業をはじめ地域の温暖化対策の取組を進めるために設置している「和歌山市地球温暖化対策基金」に積み立てた上で大切に活用させていただきます。

学校夜間照明施設の更新事業



和歌山市では、設置から45年以上経過し、老朽化が著しく進行している学校夜間照明施設について、学校環境の安全確保に万全を期すとともに、市民の社会体育活動の振興施設として、長期間に渡って安全で良好な状態で使用できるよう、学校夜間照明施設の更新の取組を進めています。

具体的には、現在8校で開設している施設を将来的には5校に集約し、老朽化した支柱や配線等を更新することで、これまで危険であった構造物等がなくなり、夜間解放利用者だけでなく、学校生活を過ごす子供達にとっても、安全・安心な環境を整えます。加えて、投光器もLED化することで、劇的に照度が上がり、夜間開放利用者にとってもより使用しやすい施設となるよう整備を進めていきます。



これらの取組を進めるために大切に活用させていただきます。

ご寄附いただいた企業様には・・・

当市の持続可能なまちづくりへのご貢献を讃え、社会貢献に取り組む企業として、市のホームページ等において企業の名称等をPRさせていただきます。